

# ひがしっ子

No.12

平成 27 年 1 月 9 日発行

文責 学校長 小笠原哲司

## あけまして

### おめでとうございます

それぞれのご家庭では、温かいお正月を過ごされたことと思います。

本年も教職員一同、子どもたちの健やかな成長のために精一杯努力してまいります。どうぞ、よろしく願いいたします。

1月8日(木)に整然と行われた始業式では、学校評価アンケート結果の一部を子どもたちに示しながら、学習や生活の目標を改めて確認しました。

- ① 宿題等の家庭学習をきちんとする。
- ② 自分から挨拶をする。
- ③ 廊下を静かに歩く。
- ④ トイレのスリッパをそろえる。

## 終業式、高知新聞が取材

高知新聞の記者が、12月25日(木)に行われた本校の終業式の日模様を取材し、右の記事が同日の夕刊で報道されました。ご覧ください。写真で紹介されているのは縦割り班で大掃除をしているところです。

## 給食費の集金について

1月分の給食費の集金は、下記のとおりです。引き落としができるよう、ご準備をお願いいたします。

1月給食費振替日 1月20日(火)

うしお	16回	4,000円
1~6年	16回	4,000円



「今年もありがとう」。学びやを掃除する児童たち(25日午前、高知市の潮江東小学校)佐藤邦昭撮影

## 希望を胸に新年を

### 県内小中で終業式

県内公立小中学校の多くで25日、終業式が行われた。勉強に、スポーツに一生懸命だった児童生徒たちは、午(う)ま(ま)のように駆け抜けた年の終わりに「来年は何に挑戦しようかな」。希望を胸に新たな年を迎える。

高知市潮江東2丁目の潮江東小学校の児童たちは、白い息を弾ませながら「もうすぐお正月だね」「お母さんとおせち料理を作るよ」と、足取りも軽く今年最後の登校。

終業式では、小笠原哲司校長が「2学期でできるようになったことを振り返り、これから身に付けたいことを冬休みに考え、3学期に会いましょう」とあいさつした。式の後は大掃除。今年一年お世話になった教室に感謝の気持ちを込め、丁寧に雑巾で拭いていた。昨年からは少年野球チームに入っている5年生の土居京祐君は「来年は10本以上ホームランを打つのが目標。冬休みは毎日練習する」と話していた。(井上 学)

## 6年生、バスケットボール交歓会

12月25日(木)の午後、潮江小学校の体育館で潮江地区学童バスケットボール交歓会が行われました。本校からも6年生男女の代表が参加し、12月はじめから早朝や昼休み、放課後に練習を行ってきた成果を発揮しました。潮江中学校のバスケットボール部の皆さんも練習に加わり、指導や練習試合をしてくださいました。



## 小砂丘賞・団体賞を受賞！

生活つくり方の礎を築いた小砂丘忠義先生（高知県出身）の功績を顕彰するために組織された小砂丘賞委員会は、毎年、作文教育に功績のあった個人や団体を表彰しています。

本年度は、本校が団体賞を受賞することになり、1月6日（火）の高知新聞で紹介されました。

本校は、平成6年度にも同賞を受賞していますが、その後も20年間に渡り、全校で短作文を書いたり、日記を書いたり、年度末に学級文集を発行したりといった取り組みを継続しています。近年は、視写タイム（文写し）や、授業の中で書く場面を設定し個々の思考の場を作ってから発表し合うという授業づくりにも取り組んでいます。

また、作文コンクールの「こども小砂丘賞」でも、20年間、毎年入選者を出しています。

こうした地道な取り組みが認められて、団体賞をいただけることになったものです。

## 入賞、おめでとう

### こども小砂丘賞(作文コンクール)

優 秀	5年	立川 智也・長野 碧斗
優 良	5年	野村まりか
〃	6年	吉門未唯菜・白井のどか 西山 理棕

## 避難訓練と学習会のご案内

1月16日（金）に、地震・津波を想定した校内での避難訓練を実施します。地域、保護者の方で参加して下さる方は、**午後1時10分頃、運動場**にお集まりください。訓練に引き続き、村上英記さんを講師に迎え、児童に地震や津波に関する講演をしていただきます。保護者の皆様で聴講を希望される方は、ぜひお越しください。

### 防災学習会(全校児童と一緒に)

- 日時 1月16日（金）14:00～15:00
- 会場 潮江東小 体育館
- 講師 村上 英記さん（高知大学 教授）



大坪美記教諭

同賞は、生活綴（つづり）方の生みの親、小砂丘忠義（長岡郡大豊町出身）の業績をたたえ、1953年に創設。県内の教員、OBらでつくる「小砂丘賞

委員会」が毎年選考し、表彰している。大坪教諭は毎日の家庭学習で日記を指導。児童がその日、一番心に残ったことを書いて提出し、これに赤ペン

分を見つめ、友達を理解し共に成長する学級になつていくことがうかがえる内容。こども小砂丘賞にも連続して入賞者を出すなど、指導力が発揮されてい

る点も評価された。潮江東小は、40年以上にわたって国語教育の研究、実践を継続。低、中、高学年ごとに目標を立てて系統的に取り組み、全学級で日記指導と文集発行を行っている。全校児童が短作文を書く10分間の「ひがしタイム」が毎週行われ、「書く」ことが研究にしっかり位置づけられている点などで受賞が決まった。

「みんなだいすき」通信を通して温かい学級経営ができています。や、子どものやる気が大事にするまなざしが感じられたことなどが

県内の優れた作文教育に贈られる「小砂丘賞」の2014年度受賞者が5日、決まった。個人賞は高知市朝倉小学校の大坪美記教諭（45）、団体賞は高知市潮江東小学校、文集賞は幡多郡大月町大月小学校1年生の学級通信で、宮部美香教諭が指導した13年度の「みんなだいすき」と14年度の「こころ」がそれぞれ選ばれた。（野村 圭）

で丁寧なコメントを添えて返却する。朝や下校前の会に教人の日記を紹介し、互いに読み合う活動もしている。学級通信と文集は自分を見つめ、友達を理解し共に成長する学級になつていくことがうかがえる内容。こども小砂丘賞にも連続して入賞者を出すなど、指導力が発揮されてい

る点も評価された。潮江東小は、40年以上にわたって国語教育の研究、実践を継続。低、中、高学年ごとに目標を立てて系統的に取り組み、全学級で日記指導と文集発行を行っている。全校児童が短作文を書く10分間の「ひがしタイム」が毎週行われ、「書く」ことが研究にしっかり位置づけられている点などで受賞が決まった。

「みんなだいすき」通信を通して温かい学級経営ができています。や、子どものやる気が大事にするまなざしが感じられたことなどが

## 団体賞は潮江東小

# 小砂丘賞に大坪教諭

（高知市朝倉小）

〔高知新聞 1月6日（火）朝刊〕

## インフルエンザの流行が

### はじまりました

12月末から、県内の学校でもインフルエンザにより学級閉鎖をした学校が出始めています。

**昨日（8日）は、本校でも5名の児童がインフルエンザにより欠席**しています。

昨日お配りした「ほけんだより1月号」をご覧のうえ、予防や対処にお気をつけください。